

第 48 回 (2020 年度) 女性連合総会議事録

書面決議書受付期間：2020 年 11 月 15 日～12 月 15 日

書面決議書開票日：2020 年 12 月 16 日

[提案者]

第 1 号議案 女性連合加盟に関する件 **【実行委員会】**

【報告】加盟申請なし 加盟女性会数は 279 教会・伝道所のまま

【質問】なし 【意見】なし

承認

第 2 号議案 2019 年度活動報告承認 (活動、会計、会計監査) に関する件

【実行委員会】

資料：『2019 年度報告書』(以下、報告書)

◇活動報告 報告書 3～43 頁 ◇会計報告 報告書 44～56 頁

【質問】なし 【意見】なし

承認

一般会計収支報告

〈収入〉

①連合会費：前年 4,012 名、実績 3,914 名 (▲236,000 円、▲98 名)

②総会献金：前年比 97%、▲7,751 円

⑥当年度収入合計：11,335,552 円、前年比 97%、▲388,966 円

〈支出〉

⑨ 活動費：⑩+⑪= 487,334 円 前年比 90%

・「通常の活動費」と「50 周年記念誌特別委員会の活動費」に分けた

⑮ 総会費：前年比 108%、予算比 101% (6,814 円の赤字)

・総会参加者の人数が減少 (－18 名)。託児関係費の支出があった

・前年度は、託児関係費用の支出がなかった

⑯小羊会キャンプ費：予算比 28%、▲1,362,055 円

・2020 年度に延期を 2 月に決定。すでに準備費・案内通信費を支出済

⑱事務費と㉔人件費と㉘事務所費は、「一般業務」と『世の光』業務』において
共通科目のため「一般会計」から40%、『世の光』会計』から60%を「共通分担
金」として振り分けて支出

⑱事務費： 325,169円 事務費合計812,923円の40%

㉔諸費： 112,831円 予算費226% (62,831円の赤字)

・19年度「世の光」編集用ソフト更新利用料を予算計上漏れのため

㉕共通事務費分担金：-487,754円

・事務費合計812,923円の60%を『世の光』分担金としてマイナス計上

㉖人件費： 5,090,582円 人件費合計12,726,457円の40%

㉘共通人件費分担金：-7,635,875円

・人件費合計12,726,457円の60%を『世の光』分担金としてマイナス計上

㉙事務所費： 254,509円 事務所費合計636,273円の40%

㉚事務所費： 636,273円 「連盟感謝献金60万円」

・連盟ビルの中に女性連合の事務所があり、年間60万円を計上

㉛共通事務所費分担金：-381,764円

・事務所費合計636,273円の60%を『世の光』分担金としてマイナス計上

㉜当年度支出合計：9,040,837円 予算比77%、前年比88%

㉝当年度収支差額：2,294,715円 (㉞ - ㉜) 黒字

㉞次年度繰越金：11,250,131円 (㉟ - ㉜) 前年比126%

㉟支出合計：20,290,968円 (㉜ + ㉞)

㊱退職積立金 ㊲国外協力積立金 ㊳事務所備品積立金は「特別会計」へ計上

㊴一般協力費の対外協力献金先は欄外に記載

『世の光』会計収支報告

〈収入〉

①『世の光』代金：(誌代+CD代) 実績 13,973,588円 予算比93% 前年比96%

②誌代：13,765,608円 (3,186冊、前年度3,319冊 ▲133冊)

③CD代：207,980円 (48枚、前年度は51枚 ▲3枚)

⑤当年度収入合計：13,973,588円 予算比93% 前年比96%

- ⑥前年度繰越金： 1,687,878円 (前年比 +1,621,552円)
- ⑧収入合計： 15,661,466円 (前年比 +1,037,007円)
- 〈支出〉
- ⑨印刷費：約155,000円/月 (前年比90%、▲191,022円/年)
- ⑤原稿料：約124,000円/月 (前年比98%)
- ⑪発送費：140,084円 予算比70% 前年比103%
- ・19年度1月よりCDが全音訳 (送料は利用者負担になる)
 - ・1月～3月は移行期間として女性連合が負担した分を含む
- ⑫編集委員会費 150,465円 予算比38% 前年比40%
- ・委員会開催の日程を掛け持ちの委員に合わせたため旅費が削減
- ⑬諸費：381,072円 「全音訳CD制作関係費用」70,380円 (欄外記載) 含
- ⑭消費税：324,400円 予算比81% 前年比96%(2018年度売上に対する納税)
- ⑮事務費：487,754円 (「一般」の事務費合計812,923円の60%)
- ⑯人件費：7,635,875円 (「一般」の人件費合計12,726,457円の60%)
- ⑰事務所費：381,764円 (「一般」の事務所費合計636,273円の60%)
- ⑱当年度支出合計：12,844,950円 予算比86% 前年比99%
- ⑲当年度収支差額：1,128,638円 (⑤－⑱) 黒字 前年比69%
- ⑳次年度繰越金：2,816,516円 (⑧－⑱) 前年比167%
- ㉑支出合計：15,661,466円 (⑱＋⑳) 前年比107%

貸借対照表 (一般・『世の光』会計)

「一般会計」と『世の光』会計の2019年度締(2020年3月31日)時点の女性連合の財政状況を表す

前年度繰越金：10,643,294円 (一般：8,955,416円・『世の光』：1,687,878円)

当年度収支差額：3,423,353円 (一般：2,294,715円・『世の光』：1,128,638円)

次年度繰越金：14,066,647円 (前年10,643,294円、前年比132%)

・預り金(BWA女性部世界祈祷日献金)は監査・役員会・実行委員会を経て、6月に送金するため「預り金」となる(2020年6月26日に送金済)。

世界バプテスト祈祷週間献金

〈収入〉

①世界祈祷週間献金：35,770,327円 予算(目標額)の79% 前年比101%

②雑収入： 33,007 円

収入合計 35,803,334 円

〈支出〉

③世界伝道：32,303,334 円

(国外伝道に30,357,350 円・国内伝道に1,945,984 円) 連盟を通してささげる

⑨アジアフィールド伝道：40 万円

150 万円の予算 (2017 年度 70 万円、2018 年度 40 万円、2019 年度 40 万円の積立) で実施の予定だったが、新型コロナウイルスの影響のため、2020 年度に延期

⑪国際緊急支援：30 万円

A P B F (アジア太平洋バプテスト連合) を通してオーストラリア森林火災救援支援として全額送金。

⑫推進活動費：100 万円 875,104 円 (資料作成費・推進会議費・通信発送費)

余剰金 124,896 円は「調査・育成費」へ

⑬調査・育成費：60 万円

推進活動費の余剰金 124,896 円を合わせて特別会計に繰入

支出合計 35,803,334 円

貸借対照表 (世界バプテスト祈祷週間献金)

●貸借対照表にある「*未払金」33,702,681 円の内訳

32,303,334 円 (連盟を通してささげられる「世界伝道」)

1,399,347 円 (次年度に延期になった「アジアフィールド伝道」のための費用)

・「世界伝道」は、年度末で締めて献金額が確定してからの計上となるので、当該年度は「未払金」扱いとなる

・「アジアフィールド伝道」は、2017 年度の 70 万円、2018 年度の 40 万円と、2019 年度の 40 万円から 12 月の準備会費用 100,653 円を引いた 299,347 円を合わせた数字 1,399,347 円。延期のため次回に繰り越されるため「未払金」扱い

●昨年度まで「未払金」となっていた④～⑧について

前回の総会までは、女性連合の独自支援 (支出④～⑧) が「貸借対照表」で「未払金」となっていたことについて質問・意見があった。世界バプテスト祈祷週間献金からの支援団体と、支援額については 100 万円以内の場合は満額ささげ

ることが前年度の総会で承認されているので問題はないことを確認し、2019年度から当年度内に執行する。

● 《報告》について

- ・ 2018年度分の送金 ①～③各 10 万円…2019年度内に送金済
- ・ 2019年度分の送金 ①30 万円…当年度 2019年度内に送金済
- ・ 2020年度からは当年度分のみの《報告》となる。

奨学会会計

「アジア奨学金」は2018年度をもって終了し、基金残金（43,000円）は女性連合奨学金に加え「女性連合奨学金」とする。2020年度からは「アジア奨学金」科目は削除。次年度繰越金 7,130,467円

〈収入〉

繰越積立金： 6,727,947円 （前年 6,459,721円）前年比 104%

献身者デー献金：1,381,701円 （前年：1,440,864円）前年比 95%

〈支出〉

奨学金： 960,000円（4名 x 240,000円）

収支差額（繰越積立金）：7,130,467円（前年：6,727,947円）前年比 106%

出版基金会計

2022年度の50周年記念誌出版に関する費用は、ここから支出。

〈収入〉

出版物売上：39,000円 （前年：47,760円）前年比 81%

〈支出〉

出版物諸経費： 68,432円

収支差額（繰越積立金）：943,914円（前年：973,914円）前年比 97%

調査・育成費積立基金会計

〈収入〉

調査・育成費繰入：724,896円

（「世界バプテスト祈祷週間献金」より繰入：

「調査・育成費」600,000円 + 「推進活動費」の余剰金 124,896円）

収支差額（繰越積立金）：5,923,873円（前年：5,485,607円）前年比 108%

事務所備品積立会計

〈支出〉

事務所備品費： 96,619 円

・事務所の古くなったパソコン一式を買い替え

収支差額（繰越積立金）：370,566 円

◇会計監査報告 報告書 56 頁

第 3 号議案 2021～2022 年度役員および会計監査選挙に関する件

【実行委員会】

【質問】なし 【意見】なし

承認

女性連合細則・規定 第 1～3 条 『女性連合ハンドブック』19～20 頁

*書面決議による総会のため今年度は選挙を行わない。次年度に、2022～2023 年度任期の選挙を行う。(議案書資料 17 頁参照)

第 4 号議案 2020 年度補正予算に関する件

【実行委員会】

【質問】なし 【意見】あり

承認

資料 報告書 78～80 頁 (巻末の黄色ページ)

(参考) 2020 年度 活動方針 ※2019 年度総会で承認

主題：「広く世界の状況を知る」 副題：いま、福音をたずさえて

聖書：コリントの信徒への手紙 I 9 章 23 節

賛美歌：『新生讚美歌』395 番「伝えましょう イエスの救い」

活動：**※新型コロナウイルスの影響で中止・延期など変更になる可能性あり**

・機関誌『世の光』発行

・沖縄 (命どう宝) の日 2020 年 6 月 23 日 (火)

*第 13 回 6・23 「沖縄 (命どう宝) の日」学習ツアー

6 月 22 日～25 日 → 中止

- *BWA (世界バプテスト連盟) 女性部世界大会 (ブラジル・リオデジャネイロ)
7月17日～20日 → 2021年7月3日～6日へ延期
- ・献身者デー 9月例会日
 - ・第48回女性連合総会 10月21日～23日 → 書面決議に変更11月～12月
 - ・BWA女性部世界祈祷日 11月2日 (第一月曜日)
 - ・世界バプテスト祈祷週間 11月29日～12月6日
 - ・第3回「三バプテスト合同研修会」(沖縄・南城市)
2021年2月4日～6日 →
一年延期し、2022年2月3日(木)～5日(土)の開催を目指す
 - ・第5回アジアフィールド伝道(カンボジア)
2021年2月27日～3月9日 ← 2019年度から延期
 - ・第31回全国小羊会キャンプ・リーダー研修会(3学年合同)
2021年3月30日～4月1日 ← 2019年度から延期、3学年合同予定
- ・世界バプテスト祈祷週間 2020年11月29日(日)～12月6日(日)
献金目標額: 4,000万円
用途: 連盟 3,600万円
(国外伝道 3,350万円、国内伝道 250万円)
- | | |
|------------------------|-------|
| 福島移住女性支援(EIWAN) | 20万円 |
| ライズ & シャイン(ネパール) | 20万円 |
| プリ・キンダーガルテンスクール(インド) | 20万円 |
| アガペ子ども家(カンボジア) | 20万円 |
| ウムチョ・ニャンザ(ルワンダ) | 20万円 |
| バーン・ジンジャイ(タイ) | 20万円 |
| アジアフィールド伝道 | 70万円 |
| BWA id(世界バプテスト連盟救援委員会) | 20万円 |
| 国際緊急支援 | 30万円 |
| 推進活動費 | 130万円 |
| 調査・育成費 | 30万円 |

【補正予算補足説明】

一般会計

(収入)

- ①連合会費： 予算は9,720,000円(4,050名)→9,600,000円(4,000名)
(18年度実績3,914名を鑑みて)
- ②総会献金： 400,000円→0円(天城山荘での通常開催は行わないため)
- ③特別献金： 900,000円→700,000円(同上)
- ④小羊会キャンプ助成金：900,000円→600,000円
19年度開催が20年度に延期。準備費・案内通信費などに支出した19年度の残金が約1,300,000円ある。20年度開催は3学年合同なので予算を2,500,000円で計上。残り1,200,000円を連盟と女性連合で同じく600,000円ずつ負担予定。
- ⑥当年度収入合計：予算11,921,000円→10,900,000円
- ⑦前年度繰越金：予算8,959,656円→11,250,131円
- ⑧収入合計：予算20,880,656円→22,150,131円
〈支出〉
- ⑫会議費：1,700,000円→350,000円
(オンライン会議で旅費削減・第3回役員会分含む)
- ⑮総会費：500,000円→100,000円(天城山荘の総会ではないため)
- ⑯小羊会キャンプ費：1,900,000円→2,500,000円
(3学年合同の予定、④の説明を参照)
- ⑰事務費：360,000円→400,000円 事務費合計1,000,000円の40%
- ⑲諸費：50,000円→150,000円
・19年度より編集ソフト利用契約料が毎年約7万円必要となるため10万円増額
- ⑳共通事務費分担金：-600,000円
・事務費合計の60%が『世の光』会計分担金(マイナス計上)
- ㉑人件費：人件費合計13,384,400円の40%
- ㉓共通人件費分担金：-8,030,640円
・人件費合計の60%が『世の光』会計分担金(マイナス計上)
- ㉕事務所費：事務所費合計700,000円の40%
- ㉗共通事務所費分担金-420,000円
・事務所費合計の60%が『世の光』会計分担金(マイナス計上)
- ㉙事務所備品積立：100,000円→300,000円(パソコンの買替えなどが必要のため)
- ㉛当年度支出合計：11,903,760円→9,893,760円
- ㉝当年度収支差額：17,240円→1,006,240円(⑥-㉛)
- ㉟次年度繰越金：8,976,896円→12,256,371円(⑧-㉛) 予算比136%
- ㊱支出合計：20,880,656円→22,150,131円(㉛+㉝)

『世の光』会計

〈収入〉

- ①『世の光』代金：予算 14,947,200→14,040,000 円
- ②誌代：14,688,000 円 (3,400 冊/月) → 13,824,000 円 (3,200 冊/月)
- ③CD代：259,200 円 (60 枚/月) → 216,000 円 (50 枚/月)
- ⑤当年度収入合計：14,947,200 円 → 14,040,000 円
- ⑥前年度繰越金：2,816,516 円 (前年比 1,128,638 円増)
- ⑧収入合計：16,699,638 円 → 16,856,516 円

〈支出〉

- ⑨印刷費：2,200,000 円→2,000,000 円 (約 170,000 円/月) 前年実績より
- ⑩発送費：200,000 円→150,000 円 (前年実績より)
- ⑫編集委員会：400,000 円→200,000 円 (2 回のうち 1 回はオンライン会議)
- ⑬諸費：450,000 円→400,000 円 (前年実績より)
- ⑭消費税：400,000 円→350,000 円 (前年実績より)
- ⑮事務費：事務費合計 1,000,000 円の 60%
- ⑯人件費：人件費合計 13,384,400 円の 60%
- ⑰事務所費合計：事務所費合計 700,000 円の 60%
- ⑱当年度支出合計：15,140,640 円 → 13,750,640 円
- ⑲当年度収支差額：-193,440 円 → 289,360 円 (⑤-⑱)
- ⑳次年度繰越金：1,558,998 円→ 3,105,876 円 (⑧-⑱)
- ㉑支出合計：16,699,638 円 → 16,856,516 円 (⑱+⑳)

第 5 号議案 2021 年度活動方針・活動計画に関する件

【実行委員会】

【質問】なし 【意見】あり

承認

活動方針

主題：みことばに立つ 副題：地の塩として歩むために

※主題聖句・讃美歌について

加盟女性会から提出された聖書箇所の上位 2 つに、実行委員会で選んだ 1 つを加えた 3 つの聖句と各々に相応しい讃美歌を下に提案します。A・B・C から一つを選び、書面決議書に記入ください。最多数の聖句と讃美歌のペアに決定します。

(候補)

A 詩編 119・105 … 新生讃美歌 130 「永久なるみことば」

あなたの御言葉は、わたしの道の光/私の歩みを照らす灯

B マルコ 9・50cd … 新生讃美歌 332 「川のように」

自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。

C コロサイ 4・6 … 新生讃美歌 536 「燃え立つ言葉も」

いつも、塩で味付けされた快い言葉で語りなさい。そうすれば、一人一人
にどう答えるべきかがわかるでしょう。

活 動

・機関誌『世の光』発行

・沖縄 (命どう宝) の日 2021年6月23日 (水)

＊13回6・23「沖縄 (命どう宝) の日」学習ツアー

日程：2021年6月22日 (火) ～25日 (金) 伊江島訪問ほか

・BWA女性部リーダーシップカンファレンス 2021年7月3日 (土) ～6日 (火)

(BWA総会7月7日 (水)、BWA大会7月8日 (木) ～26日 (月))

ブラジル・リオデジャネイロ 5年に一度開催

(2020年度実施予定から延期・実施未定)

・献身者デー (9月例会日)

・第49回女性連合総会・信徒大会 (役員選挙あり)

日程：2021年10月20日 (水) ～ 22日 (金) 場所：天城山荘

・BWA女性部世界祈祷日 (11月第一月曜日) 2021年11月1日 (月)

・世界バプテスト祈祷週間 2021年11月28日 (日) ～ 12月5日 (日)

・第32回全国小羊会キャンプ・リーダー研修会

日程：2022年3月29日 (火) ～ 3月31日 (木) 場所：天城山荘

その他

※新型コロナウイルスの影響で中止・延期など変更になる可能性あり

第6号議案 2021年度予算に関する件

[実行委員会]

【質問】なし 【意見】なし

承認

資料 報告書 巻末82～84頁

一般会計

〈収入〉

- ①連合会費：9,600,000円（2020年度補正予算と同じく4,000名）
- ⑥当年度収入合計：11,700,000円
- ⑦前年度繰越金：12,256,371円（2020年度補正予算④次年度繰越金より）
- ⑧収入合計：23,956,371円

〈支出〉

- ④③当年度支出合計：11,698,760円
- ④④当年度収支差額：1,240円（⑥－④③）
- ④⑤次年度繰越金：12,257,611円（⑧－④③）
- ④⑥支出合計：23,956,371円（④③＋④⑤）

『世の光』会計

〈収入〉

- ①『世の光』代金：14,040,000円
- ②誌代：13,824,000円（3,200冊/月 2020年度補正予算と同数）
- ③CD代：216,000円（50枚/月 2020年度補正予算と同数）
- ⑤当年度収入合計：14,040,000円
- ⑥前年度繰越金：3,105,876円
- ⑧収入合計：17,145,876円

〈支出〉

- ①⑤事務費：600,000円（事務費合計1,000,000円の60%）
- ①⑥人件費：8,270,640円（人件費合計13,784,400円の60%）
- ①⑦事務所費：420,000円（事務所費合計700,000円の60%）
- ①⑧当年度支出合計：14,040,640円
- ①⑨当年度収支差額：-640円（⑤－①⑧）
- ①⑩次年度繰越金：3,105,236円（⑧－①⑧）
- ①⑪支出合計：17,145,876円（①⑧＋①⑩）

第7号議案 2021年度世界バプテスト祈禱週間に関する件 **【実行委員会】**

【質問】あり **【意見】**あり

承認

日程：2021年11月28日（日）～12月5日（日）

目標額：4,000万円

用途：連盟	3,620万円
(国外伝道 3,370万円、国内伝道 250万円)	
福島移住女性支援 (EIWAN)	20万円
会津放射能情報センター	20万円
ライズ & シャイン (ネパール)	20万円
プリ・キンダーガルテンスクール (インド)	20万円
ウムチョ・ニャンザ (ルワンダ)	20万円
イドナ村女性協同組合 (イスラエル・パレスチナ)	20万円
BWA i d (世界バプテスト連盟救援委員会)	20万円
国際緊急支援	30万円
推進活動費	130万円
調査・育成費	80万円

(説明)

■連盟国外伝道について (3,370万円)

・インドネシア伝道 (野口日宇満宣教師・野口佳奈宣教師)

2014年9月よりインドネシアに派遣され、2期目(2018年4月より3年間)の働き。イスラム教徒が80%以上のインドネシアにおいて、働きを進めている。スマランのチャンディ教会で、日宇満宣教師は英語礼拝・インドネシア語礼拝での奉仕、祈り会・家庭集会などに、そして佳奈宣教師は女性会、地区女性会などに関わってきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、宗教活動などあらゆる集会の自粛が求められたため、3月下旬から礼拝と祈禱会はリモートで行われてきたが、インドネシア語礼拝は再開している。また、日宇満宣教師は、ジャカルタのインドネシア・バプテスト神学校で修士課程の集中講義のほか組織神学の授業の一部を担当されておられるが、講義はすべてリモートとなっている。

今年7月、8月と定期帰国であったが、残念ながら出会いのよい機会となる報告会は中止となった。しかし、何か所かの教会での礼拝メッセージ、西南学院大学でのロングチャペル(web)などで、現地の様子を交えたメッセージを語ってくださった。

・カンボジア伝道 (嶋田和幸宣教師・嶋田薫宣教師)

2015年3月よりカンボジアに派遣され、第2期目(2019年4月より3年間)の働

きとなっている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、カンボジア政府により国内のすべての宗教的集会在禁止となり、3月下旬よりカンボジアバプテスト連合（CBU）オフィス教会での礼拝、諸活動は中止となっており、礼拝は、家庭礼拝の形をとっている。オフィス教会の牧師と連絡を取りながら、教会再開の時期を待っている。両宣教師が現地にとどまるその中で、主が起こされる出会いから新たな導きをも与えられるよう祈っていきたい。

・シンガポール

I J C S（シンガポール国際日本語教会）との宣教協働に関する「覚書」に基づき、I J C S牧師伊藤世里江氏がAMC（日本バプテスト連盟アジア・ミッション・コーディネーター）の働きを担われ、3期目を歩まれている。連盟派遣宣教師たちのサポート、シンガポール連盟やアジア諸国の連盟との関係づくり、A P B F（アジア太平洋バプテスト連合）の宣教委員の働き、また連盟宣教部への情報発信などを担ってくださっているが、新型コロナウイルスにより行き来ができない状況である。伊藤AMCの働きと共にアジアの宣教を覚えていきたい。

・IMV（国際ミッション・ボランティア）

1994年にアフリカのルワンダで起こったジェノサイド（大量虐殺）から今年で26周年を迎えた。2005年よりジェノサイドによって深い傷と痛みを負った人びとにキリストの福音による「和解と癒し」、平和構築のための大学での人材育成の働きのために、佐々木和之氏がIMVとして派遣されている。主な働きは、

（Protestant Institute of Arts and Social Sciences、プロテスタント人文社会科学大学）の平和紛争研究学科長としての働きと協働グループ活動支援、また学生が取り組む平和構築活動への支援など多岐にわたる働きを担っておられる。しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため大学は対面での教育活動をすべて休止し、オンライン授業を進めている。支援活動へもなかなか訪れることができない状況であった。ルワンダにあって、現地の人びとと祈り助け合いつつ希望を持って乗り越えることができるよう祈っていきたい。

連盟国内伝道について（250万円）

連盟宣教部の国内伝道の働きが豊かに導かれることを祈りたい。特に、全国支援・地域協働プロジェクトの働きを覚えたい。2015年度から開始された「バプテ

スト北九州地方連合宣教支援センター」、また2019年度より「東京北教会・多文化共生の居場所となることを目指す教会づくりプロジェクト」の取り組みが始まっている。「居場所」、「共生の場」となる教会を目指し歩みだされたこの取り組みを祈り支援していきたい。

ふくしま移住女性支援活動（E I WAN）（20万円）

E I WAN (Empowerment of Immigrant Woman Affiliated Network) は、「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト者連絡協議会」(外キ教) の働きとして2012年に結成された。2011年3月11日直後、福島県内のいくつかの市において移住女性たちによる自助組織が結成された。彼女たちは、大地震と放射能汚染の過酷な状況の中で、子どもたちの健康を守り、家計を守るために苦闘している中でE I WANと出会い、2012年から就労と日本語学習の支援、子どもたちの継承語教育支援を始めた。2014年には、福島駅近くに事務所を設け、これまでの支援に加え、放射能被害に関する調査、保養プログラム、子どもフォーラムなど地元で開催してきた。また、福島では、過疎化と少子高齢化の波が震災後加速し、移住労働者が急増している。コロナ危機により、移住労働者は、真っ先に雇い止めや休職を言い渡され生活が成り立たなくなり、「言葉の壁」により支援制度を利用できないなど、過酷な状況に置かれている。福島の移住女性たち、移住労働者たちを覚えたい。

会津放射能情報センター（20万円）

「会津放射能情報センター」は、2011年5月市民団体として活動が始められた。拠点は、会津若松市の日本基督教団若松栄町教会教育館。医師による健康相談や講演会、学習会や空間線量や食品、土壌など測定、発信、保養プログラムなど行っている。放射能の恐怖の中で孤立する人びとと手を繋ぎ、「どの子のいのちも放射能から守りたい」と、地道な働きを進めている。

（『世の光』「心に鋏を入れられて」2020.4～7月号参照）

ライズ&シャイン（ネパール、20万円）

「ライズ&シャイン」(旧・プラティクシャホーム) は、NBCC (ネパールバプテストキリスト教協議会) の働きのひとつである。ネパールで人権が軽んじられている寡婦に、みことばによる回復と励ましを与え、経済的自立支援のために液体洗剤づくりなどの職業訓練を日常的に行っている。コロナ危機の中、ライズ&

シャインは日雇いの職がなくなり賃金がなく瀕している女性たちに救援物資を配布し、また子どもたちには教育物資を届けている。また、このような中にも寡婦や単身女性に対する液体石鹼作り、ピクルス製造などの職業訓練が続けられている。ネパールの寡婦やその子どもたちを覚えてほしい。

プリ・キンダーガルテンスクール（インド、20万円）

2017年より「プリ子どもの家」にかわって新たな教育機関として「プリ・キンダーガルテンスクール」が始まり、貧しい地域の子どもたち50名が学んでいる。コロナ危機のため、地域によって断続的にロックダウン（都市封鎖）が続いており、プリ・キンダーガルテンスクールも閉鎖中である。教師たちは、生徒の生活支援と自宅で学び続けることができるように文房具の配布などに取り組んでいる。感染者の増加に伴い、学校の再開時期はさらに延長されることが予測されている。覚えて祈りたい。

ウムチョ・ニャンザ（ルワンダ、20万円）

「ウムチョ・ニャンザ」では、和解と共生・生活向上を目的にルワンダのニャンザ郡に住む女性たち14名が活動をしている。「ウムチョ」とは、光という意味である。メンバーは、ジェノサイド（集団殺戮）のサバイバー（生存者）と加害者を家族に持つ人たちで、佐々木IMVが関わる「平和と開発センター」の活動として5年前にスタートした。多くの支援、協力の中で、洋裁の訓練を受けブックカバー製作、ポシェットやバックの製作、販売をしている（今年度はカタログ販売の予定）。将来、女性たち自身で品質管理を行い、また材料や道具の購入・管理も譲渡し、協同組合設立にむけて支援を続ける予定となっている。メンバーたちは、共に働くことでジェノサイドの被害者、加害者の関係を乗り越え、今やお互いを信頼し、さまざまな形で助け合う関係となっている。この報告に、希望の光を見せていただいている。

イドナ村女性協同組合（イスラエル・パレスチナ、20万円）

イドナ村は、ヨルダン川西岸地区へブロン郊外にある。NPO団体「サラーム」（パレスチナの女性を支援する会〔広島県〕）から派遣されている現地派遣員の支援により、1997年に「イドナ村女性共同組合」が設立された。女性たちは、パレスチナ伝統の手刺繍の技術やマネージメントの指導を受け、製品（ショール、バック、小物製品）を製作・販売し、生活改善を目指している。専従スタッフ 4

名、刺繍、縫製担当者の約50名で運営している。

政治的にも経済的にも厳しく不安定な状況にあり、重ねてコロナ危機によりイ
ドナ村も封鎖で外出禁止となり、刺繍製品を日本（「サラーム」）に送れず、収入
の見通しが立たない厳しい状況に置かれている。

BWA i d（世界バプテスト連盟救援委員会、20万円）

世界各地で起こる災害や緊急課題に対して、世界中のバプテストの祈りを携えて
現地へ赴き支援活動を行っている委員会である。毎年、女性連合からBWA i
dに献金をささげることを通して、世界の緊急課題のため祈りを届けている。

国際緊急支援（女性連合独自、30万円）

女性連合から自然災害などの緊急課題に対して、直ちに祈りを届けたいとの願
いからはじめられている。2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に
よって打撃を受けている人びとへの支援も災害支援として必要に応じて用いる。
緊急支援が用いられなかった場合、また残額があった場合は、翌年のBWA i d
に加算してささげている。

推進活動費(130万円)

資料作成費、推進会議費（沖縄6・23学習ツアー）、通信発送費などに用いられ
る。余剰が出た場合、必要があれば国際緊急支援として用いていく。

調査・育成費（80万円）

女性連合にとって、次世代の育成も大切な働きのひとつであるため、女性連合
総会、大会や全国小羊会キャンプの託児に関わる費用をこの「育成費」から支出
していく。託児費用を援助することによって、できるだけ若い母親の参加費負担
を軽減し、多くの方がたの参加を期待したい。

第8号議案 第50回（2022年度）総会・信徒大会に関する件 【実行委員会】

日時：2022年10月19日（水）～21日（金）

場所：天城山荘

【質問】なし 【意見】なし

承認

第9号議案 第49回(2021年度)総会議長・副議長に関する件 [実行委員会]
役員会に一任
【質問】なし 【意見】なし

承認

連合書記 戸井田敦子

2019年度 会計監査報告

日本バプテスト女性連合
第48回総会御中

女性連合会計規定に従い、2020年6月1日、私ども会計監査委員は、次の通り監査を実施致しました。

1. 女性連合一般会計収支報告書
2. 「世の光」会計報告書
3. 世界祈禱週間献金収支報告書
4. 女性連合奨学会計報告書
5. 出版基金会計報告書
6. 国外協力積立基金会計報告書
7. 退職金積立基金会計報告書
8. 調査費・育成費積立基金会計報告書
9. 事務所備品積立基金会計報告書
10. その他

以上、帳簿及び領収書綴、銀行通帳、現金、その他監査いたしました。
その結果貸借対照表・収支報告書は女性連合2019年度の働きに照し、適正に処理されていることを確認いたしましたのでご報告申し上げます。

2020年 6月 1日

会計監査 志岐基子 
杉山章子 

第48回総会（書面決議総会） —議案に関する質問・意見と回答・応答—

2020/4/30に行われた臨時役員会での協議、その後、13地方連合の実行委員の承認により、今年度総会（第48回総会）は「書面決議」による総会の実施を決定いたしました。「書面決議」を行うにあたり、加盟女性会からお寄せくださった議案に関する質問・意見に対する役員会からの回答・応答を掲載いたします。

<浦和教会>

質問

- ・議案番号 第7号議案「2021年度世界バプテスト祈祷週間に関する件」
- ・質問内容

用途の中で昨年まで送っていた「アガペ子どもの家」（カンボジア）とバーン・ジンジャイ（タイ）の2件が外れたのはどうしてでしょうか。その理由が知りたいです。

回答

女性連合独自の支援先については、基本的に単年度で決めているものです。支援が数年続いている団体もありますが、継続という発想ではなく、私たちの祈りと活動を広げていくために、その年ごとに新たに選びなおしています。ゆえに本年度で言えば「会津放射能情報センター」（日本・福島）、「イドナ村女性共同組合」（イスラエル・パレスチナ）が新たに加わりました。

今後も「アガペ子どもの家」や「バーン・ジンジャイ」との繋がりを大切にし、『世の光』誌などを通して情報発信をしていきたいと思っております。

意見

・議案番号 第5号議案「2021年度活動方針・活動計画に関する件」

・意見内容

「第49回女性連合総会・信徒大会」の日程について反対です。

コロナの中、来年はどうなっているのかわからない中で、2泊3日で行うのはいかがなものか？ 多くの女性が働いている昨今の状況では水・木・金と週の3日間の休みを取ることは大変であります。毎年でなくてもよいので、1泊2日（金・土）で総会のみを開催を考えてほしい。30～40代の参加者を増やしたいためです。

応答

2021年度の総会・信徒大会については、2019年度（第47回）総会の第8号議案で、日時・場所が承認されています。ただ、※にある通り、コロナの影響で、変更になる可能性はあります。また仕事を持っておられる方がたの参加を願ってのご意見をありがとうございます。社会状況に合わせ、考えていかなければならないことと理解しております。

これまで、より多くの方に参加していただくために、数年ごとに選挙や特別プログラムのない年を用いて総会のみを地方開催にし、2018年度より全日参加（2泊3日）がどうしても困難な方には、総会のみ参加（1泊）も可能といたしました。会場が天城山荘の場合、1泊ですと関東圏以外の参加者の方がたにとっては、コストと時間がかかり、1泊2日の日程では体力的にもかなり厳しいものがあると想像いただけるかと思います。現段階におきましては、基本的に2泊3日として1年に1度の出会いと交わり（信徒大会）を大切にしたいと考えております。

今後、曜日などを含め課題については、さまざまなアプローチで取り組んでいきたいと思っています。

<東京北教会>

質問

- ・議案番号 第7号議案「2021年度世界バプテスト祈祷週間に関する件」
- ・質問内容

「議案書」12頁の説明について。各国の現状が記されており、それぞれのコロナウイルスに対する現状が詳しく載っていてとても参考になりありがたい。一つ残念なことはその現状報告が何月何日時点かが記されていないことだ。日々刻々変化している状態なのでできれば報告作成日を具体的に教えてほしい。

回答

「議案書」12～15頁は8/29（土）に原稿が完成しました。18頁からの資料については2020年春から夏にかけての情報です。今後も随時、『世の光』や女性連合ホームページ、ビデオレターなどで情報共有をまいります。

<堺教会>

意見

- ・議案番号 第4号議案「2020年度補正予算に関する件」
- ・意見内容

一般会計支出の②会議費が、オンライン会議で行うことで大変削減されているので、今後もできるならばオンライン会議ですむ会議はそのようにしてはどうでしょうか。

応答

ありがとうございます。一般会計の支出を抑えるためにも、できる限りオンラインを活用していきたいと思います。

<調布教会>

意見

- ・議案番号 第7号議案「2021年度世界バプテスト祈祷週間に関する件」
- ・意見内容

賛成します。目標額が4,000万円に置かれたことを嬉しく感謝します。コロナウイルスの流行が全世界を覆い、何もかも難しい状態ですが、(各団体へは)たった20万円の支援であっても、私たちの祈りに励まされる人びとがおられるこの現実を、各教会の女性会会員に知っていただき、ますます燃える思いで祈りとささげものをささげていくことが会員減少の動きを止め、向上することにつながることを信じ、祈っています。

応答

ありがとうございました。ご意見承りました。